



# Cisco EnergyWise Orchestrator Proxy Configuration Editor ユーザ ガイド

Cisco EnergyWise Orchestrator Proxy Configuration Editor User Guide

OL-19815-02-J

**【注意】** シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 ([www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)) をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

特に明記されていない限り、ネットワーク デバイスとデバイスという用語は Cisco スイッチ、ルータ、アクセス ポイント、およびその他のネットワーク デバイスを指しています。

Cisco EnergyWise Phase 2 を実行する特定のシスコ デバイスの詳細については、ご使用のデバイス上で稼動する Cisco IOS ソフトウェアのリリース ノートを参照してください。これらのリリース ノートがご使用のスイッチに適しているかどうかを確認するには、**show version** 特権 EXEC コマンドを使用します。

EnergyWise Phase 2 のマニュアルのリストについては、「[関連資料](#)」(P.6) を参照してください。

**警告**

電源に不具合が生じている場合、または電源が切断されている場合は、Voice over IP (VoIP) サービスおよび緊急電話サービスが機能しません。電源が回復したら、装置をリセットするか再設定して、VoIP および緊急電話サービスへのアクセスを再確立します。米国内では、この緊急番号が 911 です。お住まいの地域の緊急番号を知っておく必要があります。

この警告の詳細については、次のサイトから入手できる Cisco EnergyWise Orchestrator の各ガイドの付録「Importance Notice」を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps10195/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps10195/tsd_products_support_series_home.html)

## 目次

- 「システム要件」 (P.2)
- 「はじめに」 (P.3)
- 「関連資料」 (P.6)
- 「Cisco Developer Network でのマニュアルの入手とサポートの利用」 (P.6)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.7)

## システム要件

Orchestrator Server バージョン 2.0.0 では、データ ストレージに Microsoft SQL Server の次のバージョンを使用します。

- 英語版 SQL Server 2005 x86 SP2
- 英語版 SQL Server 2008 x86 SP1

Orchestrator Agent は次のバージョンで動作します。

- Windows 7 x86 および最新のパッチ
- Windows 7 x64 および最新のパッチ
- Windows Vista x86 SP2 および最新のパッチ
- Windows XP x86 SP3 および最新のパッチ

Orchestrator Administration Console および Sustainability Dashboard は Internet Explorer 7 および Flash Player 10 で動作します。

Orchestrator Server のソフトウェア要件は次のとおりです。

- Microsoft IIS 6.0
- .NET 3.5 SP1
- Java 6 アップデート 17

# はじめに

Cisco EnergyWise Orchestrator の Proxy Configuration Editor はプロキシ サーバの web.config ファイルを編集するための Windows GUI アプリケーションです。このファイルには各 EnergyWise ドメインの EnergyWise ドメイン情報が含まれます。Orchestrator ではこの情報を EnergyWise ドメインを管理するために必要な情報とともに使用して、EnergyWise プロキシ サーバを設定します。

Proxy Configuration Editor は次の 2 つのファイルで構成されます。

- proxycfg.exe
- EnergyWiseConfiguration.dll

Orchestrator Server バージョン 2.0.0 とプロビジョニング サーバがインストールされるサーバに Proxy Configuration Editor をインストールします。

**ステップ 1** 次のサイトから proxycfg.exe ファイルと EnergywiseConfiguration.dll ファイルが含まれる .zip ファイルをダウンロードします。

[http://orchestratorkb.verdiem.net/file\\_downloads/CiscoEnergyWiseOrchestrator\\_2.0.0\\_Enhancements.zip](http://orchestratorkb.verdiem.net/file_downloads/CiscoEnergyWiseOrchestrator_2.0.0_Enhancements.zip)

**ステップ 2** このファイルを C:\Inetpub\wwwroot\Cisco Systems\EnergyWiseProvisioningService\bin ディレクトリにコピーします。

**ステップ 3** proxycfg.exe ファイルを実行します。

**ステップ 4** [File] > [Open] をクリックし、C:\Inetpub\wwwroot\Cisco Systems\EnergyWiseProvisioningService ディレクトリ内の web.config を選択して、web.config ファイルを開きます。



(注) web.config ファイルを編集する前に、バックアップ ファイルを作成します。

**ステップ 5** [Add Proxy Installation] をクリックして、使用できるプロキシ サーバを特定し、表 1 に示すパラメータの値を入力します。

表 1 プロキシ サーバのパラメータと使用可能な値

パラメータ	使用可能な値
Proxy Identifier	<p>Orchestrator プロキシ サーバの名前。Proxy Identifier のデフォルト値は ProxyInstanceID-1 です。この名前は、プロキシ サーバのインストール時に指定した名前と一致している必要があります。</p> <p>(注) 複数の Orchestrator EnergyWise プロキシ サーバを使用する場合、各サーバに固有の識別情報が必要です。</p> <p>この値は Orchestrator EnergyWise プロキシ サーバがインストールされるコンピュータ上の energywise-proxy.properties ファイルにも保存されます (このファイルは通常、C:\Program Files\Cisco Systems\EnergyWiseProxyServer\energywise-proxy.properties ディレクトリに保存されます)。</p>

パラメータ	使用可能な値
Authorized User	EnergyWise Proxy Service を実行している Windows サービス アカウント。 このアカウントは [Log On As] 列の [Services Control Panel] に表示されます。 <b>(注)</b> EnergyWise Proxy Service がネットワーク サービスとして実行されている場合、ユーザとして <b>NT AUTHORITY\NETWORK SERVICE</b> を指定します。
Hostname	EnergyWise Proxy Service がインストールされるサーバの IP アドレスまたはホスト名。 プライマリ プロキシ サーバのみを使用する場合、ホスト名として <i>localhost</i> またはループバック IP アドレス <i>127.0.0.1</i> を入力できます。 セカンダリ プロキシ サーバがインストールされている EnergyWise ドメインでこのプロキシ サーバを使用している場合、ホスト名として IP ループバック アドレスの <i>127.0.0.1</i> または <i>localhost</i> を使用しないでください。

**ステップ 6** [OK] をクリックして、設定を受け入れます。

**ステップ 7** [Add EnergyWise Domain] を選択して、ドメイン設定パラメータおよびプロキシ サーバとドメイン間のアソシエーションを定義します。ガイドラインと有効な値については、表 2 と表 3 を参照してください。

表 2 EnergyWise ドメイン設定

パラメータ	値
Domain Name	ドメインを管理するために使用されるデバイス上で現在設定されている EnergyWise ドメイン名を入力します。 <b>(注)</b> これは、 <b>energywise domain domain_name</b> グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用して設定される名前です。
Primary Management Switch	EnergyWise ドメインを管理するためにプロキシ サーバで使用される EnergyWise 対応のデバイスの IP アドレスを入力します。 <b>(注)</b> このデバイスは最初に、EnergyWise ドメインの共有管理秘密キーを使用して設定する必要があります。
Secondary Management Switch (optional)	バックアップ EnergyWise 対応のドメイン管理デバイスの IP アドレスを入力します。 <b>(注)</b> このデバイスは最初に、EnergyWise ドメインの共有管理秘密キーを使用して設定する必要があります。 セカンダリ管理スイッチを使用していない場合、このフィールドは空白のままにしておきます。
Shared Endpoint Secret	デバイスで設定されているドメインのエンドポイント秘密キーを入力します。 <b>(注)</b> これは <b>energywise endpoint security shared secret endpoint_secret</b> グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用して設定されるキーです。

パラメータ	値
Shared Management Secret	デバイスで設定されているドメインの EnergyWise 管理秘密キーを入力します。これは、EnergyWise ドメインと通信するために管理ステーションで使用されるスイッチの管理パスワードです。  <b>(注)</b> これは <b>energywise management security shared secret 0 mgmt_secret</b> グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用して設定されるキーです。
Management Port	管理アクセスに使用される TCP ポートを入力します。デフォルト ポートは 43440 です。有効な値は、1025 ~ 65535 です。  <b>energywise management security shared secret 0 domain_secret port tcp_port</b> グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用してこの値を設定します。
Query Timeout (seconds)	プロキシ サーバが EnergyWise クエリーへの応答を待機する間隔 (秒単位) を入力します。指定できる範囲は 1 ~ 180 です。安定した動作を確保するために、デフォルト値の 10 秒を使用することを推奨します。

表 3 Orchestrator プロキシ サーバ設定

コンポーネント	設定
Primary Proxy Server	この EnergyWise ドメインのプライマリ プロキシ サーバのプロキシ識別子。プロキシ識別子は、あらかじめ定義されたプロキシ インストールと一致している必要があります。
Secondary Proxy Server	この EnergyWise ドメインのバックアップ プロキシ サーバのプロキシ識別子。プロキシ識別子は、あらかじめ定義されたプロキシ インストールと一致している必要があります。  <b>(注)</b> セカンダリ プロキシ サーバを使用している場合、プライマリまたはセカンダリのプロキシ サーバのホスト名に IP ループバックアドレスの 127.0.0.1 または <i>localhost</i> を使用しないでください。
Collection Interval (seconds)	プロキシ サーバが EnergyWise ドメインに対してステータスおよび電力使用量を照会する間隔 (秒単位) を入力します。実稼動環境での最小間隔としてデフォルト値の 900 秒 (15 分) を使用することを推奨します。

**ステップ 8** [OK] をクリックして、設定を受け入れます。

**ステップ 9** [File] > [Exit] をクリックして、Proxy Configuration Editor を終了します。

**ステップ 10** Windows Services コンソールを使用して、EnergyWise Proxy Service を再起動します。



**(注)** EnergyWise プロビジョニング サーバ上の **web.config** ファイルに変更を加えた場合、変更を反映させるには EnergyWise Proxy Service を再起動する必要があります。

## 関連資料

Cisco ネットワーク デバイスを設定する場合、次のマニュアルを参照してください。

- 『Cisco EnergyWise Configuration Guide』 :  
[http://www.cisco.com/en/US/docs/switches/lan/energywise/phase2/ios/configuration/guide/ew\\_v2.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/switches/lan/energywise/phase2/ios/configuration/guide/ew_v2.html)
- 『Cisco IOS Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Phase 2』 :  
<http://www.cisco.com/en/US/docs/switches/lan/energywise/phase2/ios/release/notes/OL19810.html>
- 『Configuring Cisco EnergyWise Feature for Branch Routers』 :  
[http://www.cisco.com/en/US/docs/routers/access/1900/software/configuration/guide/engryz\\_artg.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/routers/access/1900/software/configuration/guide/engryz_artg.html)
- 『Cisco EnergyWise IOS Deployment Guide』 :  
[http://www.cisco.com/en/US/products/ps10195/prod\\_configuration\\_examples\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps10195/prod_configuration_examples_list.html)

Cisco EnergyWise Orchestrator のマニュアルについては、以下を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps10195/tsd\\_products\\_support\\_configure.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps10195/tsd_products_support_configure.html)

- 『Cisco EnergyWise Orchestrator Administrator Guide, Cisco EnergyWise Phase 2』
- 『Cisco EnergyWise Orchestrator Installation Guide, Cisco EnergyWise Phase 2』
- 『Cisco EnergyWise Orchestrator Wake for Remote Access Administrator Guide, Cisco EnergyWise Phase 2』

以下のパートナー向けのマニュアルには管理 API とエンドポイント SDK の詳細情報が記載されており、次の Cisco Developer Network で入手できます。

<http://developer.cisco.com/web/esdk/home>

- 『Cisco EnergyWise Documentation Roadmap』
- 『Cisco EnergyWise Partner Development Guide』
- 『Cisco EnergyWise Programmer Reference Guide for the End-Point SDK』
- 『Cisco EnergyWise Programmer Reference Guide for the Management API』
- 『Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Phase 2』

## Cisco Developer Network でのマニュアルの入手とサポートの利用

Cisco EnergyWise の開発パートナーは、Cisco Developer Network に参加すると、EnergyWise のマニュアル、API および SDK ソフトウェアコード、Cisco IOS ソフトウェアにアクセスできます。

<http://developer.cisco.com/web/esdk/home>

Cisco Developer Network および TAC の EnergyWise リソースにアクセスするには、サポートの連絡先とライセンスが必要です。ライセンスを登録したビジネス開発担当者は、適切なアクセス権限で Cisco.com アカウントをセットアップする必要があります。

Cisco Developer Network 上のフォーラム、wiki、その他のリソースでは、EnergyWise アプリケーション開発者およびプログラマ向け自習用ナレッジベースとコミュニティを提供します。TAC Service Request Tool で問い合わせると、高度なサポートを受けることができます。

<http://tools.cisco.com/ServiceRequestTool/create/launch.do>

# マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

---

このマニュアルは、「[関連資料](#)」に示されているマニュアルと併せてご利用ください。

Cisco and the Cisco Logo are trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and other countries. A listing of Cisco's trademarks can be found at [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1005R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2010 Cisco Systems, Inc.  
All rights reserved.

Copyright © 2010–2011, シスコシステムズ合同会社.  
All rights reserved.

